



京都府歯科医師会

よ坊さんだより

▼48▲

回復できていきます。入
れ歯をうまく使用してい
たことで、全身の健康の
維持にもつながると思
います。

また現在、インプラント

でもなじまない、また入れ
歯に、より強い安定を求め
られる場合は、インプラン
トを含む治療を段階的に考
えるのも一つの方法と考
えます。

「歯が抜けて あなた頼
むも あもあみだ」これは
江戸後期の有名な俳人小林
一茶の一句です。晩年は歯
がすべて抜けてしまったよ
うで、歯がなくなった不自
由さ、心細さをこのように
したためました。「南無阿
弥陀」と仏の慈悲にもすが
ろうとしたようですが「あ
もあみだ」としか発音でき
ないという一茶独特のユー
モアも含む句です。

さて一茶のようにすべて
歯を失った場合、現在の歯
科治療ではどのように対処
入れ歯をよりしっかり安定

（あごの骨に埋め込む人工
歯根）を土台として用いて、
入れ歯をよりしっかり安定
ただし、インプラントは
あごの骨があまり残ってい
ない方はうまくできず、全
身的な疾患をかかえた方は
望ましくない場合もあるの
で、かかりつけの歯科医師
とよく相談されることをお
勧めします。

一茶と入れ歯とインプラント

できるのでしょうか？ ま
させ使いやすくする方法も
あります。実際の治療の例
として、まず入れ歯を試し

（京都府歯科医師会広報
室 小島淳一）

ず、総入れ歯を作って入れ
ていただく。入れ歯に慣れ
ていくにつれ、しっかり噛
んで食事することができ、
味わうこと、話す機能も

（京都府歯科医師会広報
室 小島淳一）

でも良いのですが、どうし
クターです。

*「よ坊さん」は日本歯
科医師会のイメージキャラ